

令和4年度第4回教育研究評議会議事要旨

日 時：令和4年7月20日（水） 13時30分開会
14時31分開会

場 所：Web 会議

出席者：54名

総長、山口、横田、吉見、増田、山本、菅原、行松、小名木、尾崎、都木、藤森、谷本、網塚（浩）、永井、齋藤、木原、市川、西邑、野口、門出、佐藤、横井、近藤、河合、伊達、瀬戸口、幅崎、佐田、久保田、久保、畠山、岩崎、網塚（憲）、八若、滝口、石塚、迫田、堀内、高橋、藤田、川端（13：48入室）、長谷山、空井、渥美、渡部、居城、村上、清水、鈴木、野町（14：26入室）、棟朝、宮下（代理：星野）、奥

欠席者：2名

梅原、久下

オブザーバー同席：4名

高橋、石川、弼、石森

議事に先立ち、総長から資料に基づき、6月15日の令和4年度第3回教育研究評議会議事要旨の確認があった。

議 題

1 経営協議会の学外委員について

総長から、資料に基づき、経営協議会の学外委員について、1名が辞任したことから、後任1名の候補者について説明があった後、審議した結果了承され、任命手続きを進めることとなった。

2 令和5年度概算要求事項について

吉見理事から、資料に基づき、令和5年度概算要求事項について、教育研究組織改革分では継続事業2件に加え新規事業5件を新たに要求すること、共通政策課題分のうち教育関係共同実施分では継続事業5件を要求すること、共同利用・共同研究支援分では継続事業8件を要求すること、基盤的設備等整備分では30件を要求すること、令和5年度に予定する組織整備については、「歯学部振替枠」の廃止に伴う医学部医学科の入学定員変更の1件とすること等について説明があり、審議した結果了承され、7月25日の役員会に付議することとなった。

報 告 事 項

1 学生の懲戒について

総長から、学生の懲戒について報告があった。

2 北海道大学栄誉賞授与式の開催について

総長から、資料に基づき、数土 文夫氏への北海道大学栄誉賞授与について、8月5日に授与式を開催すること等について報告があった。

3 サステナビリティ推進機構と札幌テレビ放送株式会社（STV）との連携協定締結について

横田理事から、資料に基づき、本学サステナビリティ推進機構と札幌テレビ放送株式会社（STV）との間において、「地域活性化や学生、市民の成長と発展」、「協働で事業の企画と実施及び情報発信」、「北海道及び道民の持続的発展に寄与」等を目的として連携協定を締結したこと等について報告があった。

4 令和4年度部局評価配分事業について

吉見理事から、資料に基づき、令和4年度部局評価配分事業について、令和4年度予算額を客観・共通指標の評価結果を受け、令和元年度以前の水準に戻すこと、それにより令和2年度及び令和3年度に実施を見合わせていた各部局の強み・特色に対する評価による配分については、IRデータに基づく評価、客観・共通指標等に関する対応に基づき実施すること、評価項目「日本人派遣学生状況」について、新型コロナウイルス感染症の影響により、今回評価対象となる令和2年度数値が大幅に低下しており、例年どおり評価することは非常に困難であると考えられるため、本評価項目の予算額の50%は評価を行わず、全部局に基盤配分経費の規模に応じた予算を配分、25%は「日本人学生留学状況調査」に基づく日本人派遣学生数を評価の上配分、残りの予算額は「令和2年度海外留学者数及び研究留学大学院生数等に関する調査」に基づく日本人派遣学生数（オンラインによる国際交流）を評価の上配分すること等について報告があった。

5 令和5年度以降の部局評価配分事業について

吉見理事から、資料に基づき、令和5年度以降の部局評価配分事業について、部局評価配分事業検討会において見直しを行ったこと、本学の重要施策の達成のため、総長のリーダーシップの下、IRデータを活用して部局の活動状況を評価し、その活動をさらに促進するための予算として学長裁量経費を配分することで大学全体の教育研究機能の向上を図ることを目的とすること、評価区分は、①第4期中期目標等の重要施策にかかる評価、②客観・共通指標にかかる評価、③各部局の強み・特色に対する評価とすること等について報告があった。

6 令和3事業年度財務諸表等の承認について

吉見理事から、令和3事業年度財務諸表については、6月22日付で、第3期中期目標期間終了時における国立大学法人の積立金の処分については、6月24日付でそれぞれ本学からの申請どおりに文部科学大臣の承認があったことについて報告があった。

7 遺伝子組換え実験に係るインシデントについて

菅原理事から、令和4年3月に起きた遺伝子組換え実験に係るインシデントについて、再発防止策などをまとめた報告書が文部科学省に受理されたことの報告があり、遺伝子組換え実験の適切な実施について依頼があった。引き続き、増田理事から、各部局等においても改めて適切な実験実施について注意喚起するよう依頼があった。

8 全学運用教員の実施状況報告について

本件については、資料をもって報告があった。